平成２７年度　事業報告書

自　平成２６年１２月　１日

至　平成２７年１１月３０日

一般財団法人　亀田郷地域センター

目　　次

１．事業助成 …… 1
（１）先進農業助成 ……1
（２）地域づくり助成 ……1
（３）健康管理助成 ……6

２．農業振興事業 …… 7
（１）講演会・研究会の開催 ……7
（２）地域農産物のＰＲ ……8
①田植え稲刈り体験会 ……8
②その他 ……9
（３）生産・加工・販売戦略 ……10
（４）調査・研究 ……11

３．地域振興事業 ……12
（１）地域づくり活動支援 ……12
①鳥屋野潟環境啓発 ……12
②鳥屋野潟南部開発計画の推進 ……13
③その他 ……13

４．受託事業 ……13
（１）土地賃貸借事務管理 ……13

１．事業助成

（１）先進農業助成

農業者からの事業申請に応じ、事業費の一部を助成する制度である。平成２７年度は本助成の申請はなかった。

（２）地域づくり助成

「地域づくり助成」制度により、農業の祭典、地域のたより発行などの取り組みに対する支援を行った。当年度報告のあった助成実績は以下の通りである。

項番	工区	申請団体	助成対象	種別	事業費	助成額
①	大江山	大江山工区(すごぼり桜まつり協賛会)	すごぼり桜まつり	(1)	626,022	100,000
②	亀田	亀田工区(新潟地区梨振興協議会)	梨の実まつり	(1)	708,500	100,000
③		亀田工区	かめだ梅まつり	(1)	940,750	100,000
④	両川	両川工区(酒屋町商工会)	ゆめ祭り酒屋	(1)	1,660,502	100,000
⑤	曽野木	曽野木工区(曽野木商工会)	曽野木商工会祭り	(1)	226,431	100,000
⑥		曽野木工区(曽野木地区地域づくり協議会)	地域づくりだより	(4)	200,880	200,880
⑦		曽野木工区(丸潟新田みどりの会)	紫陽花祭り	(1)	171,093	100,000
		合　　計			4,534,178	800,880

種別　(1)　工区を最低の単位として行われる農業の祭典等

　　(4)　地域づくり協議会におけるたよりの発行

①	大江山	すごぼり桜まつり			実施日	H27.4.8～25
申請団体		すごぼり桜まつり協賛会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		626,022	助成額(円)	100,000	採択期	H26.11
事業の結果	○　横越排水路に植栽した桜並木にぼんぼり等を設置し、桜の名所、住民の憩いの場として発展させる。現在では地域の桜の名所となり、地域交流に寄与している。					
参加人数等	観桜会　亀田郷農家　３６人　　その他　５９人　　合計　９５人					

②	亀田	梨の実まつり			実施日	H26.10.12
申請団体		新潟地域梨振興協議会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		708,500	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　当日、台風による悪天候ながら、多数の来客があり、梨の販促・イベントも盛況だった。１日観光農園と銘打って、梨の収穫体験を楽しんでもらったり、皮むき選手権では親子の参加もあった。また、生産者からは大玉選手権大会と称し各自一番大きい新高を出品、1.6kg 強の大玉が一等となった。 ○　消費者との楽しい交流の場を設けることができた。					
参加人数等	亀田郷農家 20 人　その他 15 人　来客数　約 800 人					

③	亀田	かめだ梅まつり			実施日	H27.3.14～4.7
申請団体		かめだ梅まつり実行委員会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		940,755	助成額(円)	100,000	採択期	H26.11
事業の結果	○　天候に恵まれ、期間中は開花期～満開で、つねに散策に適する状況だった。 ○　3/29 にイベントを開催。約 2000 人が来訪し、うち 1000 人がスタンプラリーに参加した。 ○　区役所西・福祉センター前で地場産農産物を販売。商工会からも協力得て、好評を博した。 ○　別途、飲食店・菓子店でも梅を使った商品の販売にも結びついている。 ○　リピーターも増え、生産者と消費者の大切な交流の場となっている。					
参加人数等	亀田郷農家 40 人　その他 20 人　期間中来場者　約４０００人					

④	両川	ゆめ祭り酒屋			実施日	H27.9.12
申請団体		両川工区（酒屋町商工会）			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		1,660,502	助成額(円)	100,000	採択期	H26.11
事業の結果	○　地元の農業、商工業を交えた一大イベントとして、大勢の来場者でにぎわった。特に、地元農産物、農産加工品を販売するＪＡコーナーは一番の人気であった。 ○　地域外からの来場者も多く、地元農産物と消費者を直接つなぐイベントとしてＰＲ効果もあり、農業振興に大きく貢献できた。					
参加人数等	総来場者　3400 人程度　　亀田郷農家(出展者)20 名程度					

⑤	曽野木	曽野木商工会祭り			実施日	H26.10.12
申請団体		曽野木工区(曽野木商工会)			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		226,431	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　地元農産物の販売を通して、地域消費者との交流ができ、コミュニティーづくりに大いに活用できた。					
参加人数等	亀田郷農家１０人　曽野木商工会３２人　その他約８００人					

⑥	曽野木	地域づくりだより			実施日	H26.5.31
申請団体		曽野木地区地域づくり協議会			対象事業	(4)たよりの発行
事業費(円)		200,880	助成額(円)	200,880	採択期	H26.3
事業の結果	○曽野木地区で行われている地域づくり活動の広報、支援を目的として地域づくりだよりを作成する。					
参加人数等	総世帯数　3908 世帯に配布					

⑦	曽野木	紫陽花祭り			実施日	H27.6.21
申請団体		丸潟新田みどりの会			対象事業	(1)農業の祭典等
事業費(円)		171,093	助成額(円)	100,000	採択期	H26.3
事業の結果	○　多自然型工法で整備された清五郎排水路を、地域のシンボルとして守り育て、丸潟新田の宝物とする為、地域住民全員が参加するあじさい（住民植栽）灯籠祭りを開催した。 ○　祭りに先立ち、清五郎排水路の植栽箇所 334m と、県道一日市線上流部植栽箇所 180m の、草刈り・搬出作業を行い、農村環境の保全に努めた。					
参加人数等	亀田郷農家　56 人　　その他　15 人　　計 71 人					

（３）　健康管理助成

農家の定期健康診断の受診率向上を目的として、１人あたり５千円を上限に助成した。助成人数・金額は、７７０名・３，８４０，８８０円であった。

平成２７年度　工区別助成人数・金額

工区	人数(人)	交付額(円)
横越	165	825,000
大江山	73	365,000
亀田	96	480,880
両川	89	440,000
曽野木	72	360,000
鳥屋野	33	165,000
山潟	65	325,000
石山	91	455,000
大形	86	430,000
合計	770	3,840,880

【参考】過去の助成人数・金額

年度	人数(人)	交付額(円)
H26(@ 5,000)	777	3,880,760
H25(@ 5,000)※ (12 か月換算値)	531 (797)	2,652,600 (3,988,900)
H24(@10,000)	848	8,454,992
H23(@10,000)	904	9,023,600

※H25.12 月に一般財団法人に移行したことにより、
H25 年度は H25.4～11 の 8 か月間で集計した。

２.農業振興事業

（１）講演会・研究会の開催

①新潟農業経営塾

新潟大学伊藤忠雄名誉教授を主宰に、県下で活躍する農業法人経営者を講師に招き、農業の見通しや経営の工夫について語ってもらった。今年度は６回開催し、合計３０６名の聴講者が参加した。

回 開催日	講　　師	参加者数
第 14 回 H26.12.3	(有)グリーンファーム清里　代表取締役　保坂　一八　氏 (上越市(旧清里村))	60 名
第 15 回 H27.2.4	(農)木津みずほ生産組合　代表理事　坪谷　利之　氏 (新潟市江南区(旧横越町))	77 名
第 16 回 H27.4.1	(個人経営)　朝妻　幸雄　氏 (新潟市西区)	56 名
第 17 回 H27.6.3	(株)新潟ゆうき　代表取締役　佐藤　正志　氏 (村上市(旧神林村))	51 名
第 18 回 H27.8.5	(農)旭アグリカントリー　代表理事　大滝　政一　氏 (上越市(旧吉川町))	35 名
第 19 回 H27.10.7	(有)グリーンズプラント巻　代表取締役　若林　馨　氏 (新潟市西蒲区(旧巻町))	27 名
	合　　計	306 名
	（H26 年度）	363 名
	（H25 年度:4 回） (6 回換算)	340 名 (510)

（２）地域農産物のＰＲ

①　田植え・稲刈り体験交流会

亀田郷土地改良区事務所脇の体験田で、家族田植え・稲刈り体験交流会を開催した。昔ながらの手植えや鎌での刈り取り作業を一般の方々に体験していただいた。

（ａ）田植え体験交流会：H27.5.30(土) 快晴

263 名参加（有料（小学生以上）…222 名）

例年の開催で好評を得ているため、前年より約 50 名多く参加いただいた。また、新潟農業普及指導センターの協力で前年に続き、お米クイズも実施した。

（ｂ）稲刈り体験交流会：H27.10.3(土) 晴れ

210 名参加（有料（小学生以上）…170 名）

天候不順で前年は縮小したはさ掛けを、今年度は全面的に実施した。前年に続いての協力により、出前健康チェック（新潟医療生協）や農産物直売（亀田農業者会議）も実施した。

（ｃ）収穫米の活用

収穫米の収量は玄米で 850kg(前年比 110kg 減)となった。精米し、500kg は 1kg 小袋詰めにしラベルを貼って、参加者や協力者へ配布した。

また昨年度に引き続き、新潟市食育・花育センターへＰＲ用として 180kg 提供した。同センターからは、各種のイベントや料理教室のほか、平成 28 年 4 月予定の G7 農業大臣会合協議のため来所する、各国大使館員への PR 素材として活用いただいた。

② その他、イベント等による地域農産物のＰＲ

・江南区アスパークまつり（平成 27 年 6 月 7 日）

亀田農業者会議と協力し、野菜直売を行った。

・新米コシヒカリおむすび配布イベント（平成 27 年 10 月 13 日）

亀田農業者会議と協力､JR 亀田駅通路にて､新米コシヒカリおむすびの配布を行った。

・江南区 旬果旬菜いきいきフェスタ（平成 27 年 10 月 18 日） および

直売所商品券発行（利用期間：平成 27 年 10 月～12 月）

亀田郷農産物直売所の利用促進を図るため、郷内８箇所の直売所で利用できる商品券を発行した。（当センターから 500 円券 120 枚、亀田農業者会議から同 15 枚）

配布は、平成 27 年 10 月 18 日に開催された「新潟市江南区　旬果旬菜いきいきフェスタ」の会場で、亀田農業者会議が実施するイベント「運命の荒縄」の景品として配布した。

商品券利用状況は、平成 27 年内を利用期限とし、124 枚、92%が利用された。

利用可能直売所
JA 新潟市…いくとぴあキラキラマーケット、ほほえみ産直市場
JA 新潟みらい…気楽市
大地、採彩、カガヤキ農園直売所

（３）生産・加工・販売戦略

◎　アロニア生産支援

前年に引き続き、「アロニア」の生産支援を行った。生産者（亀田農業者会議アロニア部会）から業者へ集荷を依頼する場合に必要となる、集荷保管委託料等相当額を、当該部会へ助成した。

○　収穫量　　６．２ｔ（前年比＋２．２ｔ）

○　２７年度　販売先

集荷業者を通じ、下記の出荷先へ販売した。

・㈱スドージャム：アロニアシロップ煮　→　原信

スドージャム（本社：長野県松本市）はジャム製造大手。「新潟産」として製造したアロニアシロップ煮を、原信（独占販売）のカットフルーツコーナーで売っている。２６年度に引き続いての販売である。

○　今後の販売見込

・(株)みなもと農園「新潟亀田アロニア　飲むお酢」

これまで集荷を担ってきた同社が、自社ブランド製品を開発、平成 27 年 11 月の「フードメッセにいがた」に出展した。製造ラインは石山味噌醤油(株)に委託し、28 年 1 月には製品を発売、亀田地区内の直売所や、雑貨販売ルートでの流通を予定している。

（4）調査・研究

◎地域で発生する農業廃棄物等の収集・流通・利活用に関する調査

上記のための調査の一環として、もみ殻の利活用に関する先進地視察に参加した。

期日：平成 27 年 4 月 2～3 日

視察先：長野県松本市　JA 松本ハイランド　もみ殻燃焼熱によるもみ乾燥ライスセンター

石川県金沢市　明和工業(株)　もみ殻から燻炭･酢液等、多様な資源･エネルギーを抽出する技術･設備

富山県射水市　JA いみず野　もみ殻からケイ酸肥料抽出する燃焼技術・ボイラー

もみ殻燃焼熱による乾燥機
（JA 松本ﾊｲﾗﾝﾄﾞ）

膨脹軟化処理したもみ殻
（明和工業(株)）

ケイ酸質を多量含有した焼却灰
（JA いみず野）

◎水辺・潟環境の利活用に関する調査

期日：平成 27 年 8 月 10～11 日

視察先：富山県富山市　富岩運河環水公園　都市内運河でのクルーズ船運航と、公園・LRT との連携

石川県小松市　木場潟公園　潟の雑草処理と、観光・憩い・スポーツでの活用

石川県津幡町　河北潟　外来雑草の処理・堆肥化と無農薬野菜のの栽培販売、NPO 事業

園内のカフェ
(富山市環水公園)

カヌー競技場練習場として活用
(石川県小松市木場潟)

ＮＰＯによる雑草処理活動
(石川県津幡町河北潟)

３．地域振興事業

（１）地域づくり活動支援

① 鳥屋野潟環境啓発

水害防止、生態系保全など、鳥屋野潟が担う多面的な役割を啓発するため、鳥屋野潟環境啓発事業を実施した。活動内容は、鳥屋野潟で行われる、行政や環境団体の活動に協力し、「板合わせ」による親水体験などを実施した。

なお、体験会の実施と板合わせの管理は、鳥屋野潟漁協に委託した。

年月日	イベント名	参加人数	協力団体
H27.6.18(木)	山潟小学校５年生総合学習 板合わせ乗舟体験	80 人	山潟小学校
H27.7.18(土) ～20(月･祝)	鳥屋野潟環境舟運 板合わせ乗舟体験	80 人 (板合せ) 1200 人 (合計)	鳥屋野潟環境舟運実行委員会（新潟市他）
H27.7.19(日) ～10.11(日)	水と土の芸術祭 潟舟体験 ［期間中７回運航］	400 人	新潟市（水と土の文化推進課）
H27.8.30(日)	清五郎一本松　潟舟体験	70 人	清五郎一本松の会（新潟市補助事業）
H27.9.23(水)	とやの物語　鳥屋野潟ミニクルーズ（午前のみ）	60 人	とやの物語実行委員会（事務局　新潟市中央区区民生活課）

H27.7.18～20 鳥屋野潟環境舟運

H27.9.23 とやの物語　鳥屋野潟ミニクルーズ

② 鳥屋野潟南部開発計画の推進

住居ゾーンについて、関係する土地改良区工区・地元組織「長潟を考える会」は、今年度、土地利用に関する構想の具体化を行った。地権者への説明を図り、平成 28 年中に地権者会準備会の設立を目指している。当センターも工区・地元への情報提供を行い、地権者の理解と合意形成に向けて連携する。

③ その他 ― 「江南の郷ニューフードバレー構想」の推進

横越・亀田・両川工区にまたがる地域で、企業による農業参入の案件があり、当センターが、条件整理と地元での意向把握を行った。

平成 27 年 8 月に、分区長・農家組合長を対象とした説明会を行った。賃借料、および作目の面で条件の相違があり、引き続き協議中である。

4．受託事業

（1）土地賃貸借事務管理

鳥屋野潟南部開発区域 国際文化・教育ゾーン内の(株)アルビレックス新潟と地権者の間で締結された借地契約について、土地賃貸借事務管理を、昨年に引き続き受託した。

（新潟市中央区鍋潟新田地内 32 筆 約 2.9ha 関係地権者 7 世帯 1 法人）
（地域センターH27 年度事業収入 ４２４，５３２円）